

始良市農業委員会農業委員候補者の推薦及び応募状況（中間公表）

【一般募集】

令和8年5月1日現在

No.	一般募集（応募者）							応募理由	
	氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営の状況	認定 農業者		農地利用最適化 推進委員への応募・推薦
1	鶴 信光	男	78	行政書士	<ul style="list-style-type: none"> 昭和45年4月鹿児島県警察 警察官を拝命 平成20年3月鹿児島県警察を定年退職 平成20年5月鹿児島県行政書士会所属の行政書士として開業 			無	<p>小生は、農家で生まれ育ち父親は県内の某市の農業委員を務めたことから、農業を取り巻く実情は熟知しているものと思っています。また、平成20年5月に行政書士として稼働し農地法の許可申請業務を取り扱ってきました（現在は許可申請業務、取り扱っていません）ので、農村の実情も熟知しているものと思っています。</p> <p>これらの経験を活かして、利害関係を有しない委員として第三者的立場から、農地法の各種許可申請に対する適正な許可業務及び耕作放棄（遊休地）の発生防止や解消等に微力ながら尽力して農業委員会の業務遂行に貢献したいと考えて応募する次第です。</p>
2	宮部 芳照	男	85	学習塾講師	<ul style="list-style-type: none"> S41～H18 鹿児島大学農学部で農業生産システムの最適化・効率化に向けた教育研究 H2～H8 甘未資源審議会理事 H4～H8 日本農作業学会・九州支部長 H6～H16 NPO法人ネイチャリングプロジェクト理事 H18～ 鹿児島県農業共済組合連合会・農業機械部会長 H20～H21 始良町有機農業推進委員 H22～ 有機農業技術支援センター講師 H25～ 始良市環境審議会委員 H28～ 鹿児島県環境審議会委員 	野菜 2a（始良市） 果樹（枇杷） 4a（指宿市）		無	<p>近年の高齢化、後継者不足が進む中、遊休農地、耕作放棄地は依然多い。日頃、市内農地の実態をみる機会が多いが、中山間地では担い手不足による遊休農地や鳥獣被害が特に目に付く。そのためには、担い手育成や農地流動化を加速化させ、農地の集積・集約化、農地の効率的な利用促進が不可欠である。これらは本市に限らず、農作業受委託制度、スマート農業技術、基盤整備、後継者問題など含めて解決すべき課題は多い。また、将来の受け手不在農地の拡大に対応できる地域計画は重要課題の一つである。先祖伝来の土地に対する思い、相続未登録農地、複雑な権利関係など難しい問題も山積しているが、農家の意向を十分把握し、農家間の利害を調整しつつ地域実態に即した施策が必要である。将来に向け環境保全に十分配慮した農地確保が次世代に持続可能な農業を残すことになる。</p>